

とよなか市民環境会議

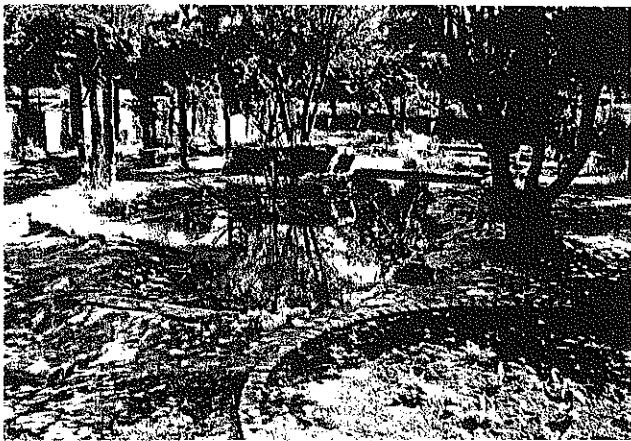


Toyonaka Citizens Environmental Conference

1999 (平成11) 年 秋号 (通巻第8号) 平成11年度 総会

十五中ビオトープ完成!

9月25日(土)、豊中市立第十五中学校により、「ビオトープ完成式」が行われました。とよなか市民環境会議自然部会をはじめ、先生、生徒、PTA、三ツ星ベルト、地元の造園会社、建設会社、阪急電鉄、豊中市など約40人が参加しました。



完成式では、まずビオトープの現場説明を自然部会のメンバーが行いました。自然部会ではこれまでビオトープの企画や全体像などの提案、全体のコーディネートも行いました。もちろんビオトープ作りが決まってからも、土を掘り起こしたり、水循環のための配水管設置したりと様々な作業を、式に参加した学校や地域、事業者の方々と協力しながら進めてきました。

そこで、この完成式の中で協力された方々に対し、学校から感謝の意味をこめた表彰状が授与されました。

また、十五中学校の生徒、職員、PTAととよなか市民環境会議によるビオトープ委員会が発足したことが報告されました。そして子ども

たちからは、「造る過程がとても楽しかった」「ガマ掘りに行ったらとても面白かったから、次はいつ行くのか先生に催促したほど」「肉食魚のブルーギルを入れる人がいて、もっとビオトープの生態系についてみんなで勉強したい」などビオトープに対する感想などが発表されました。

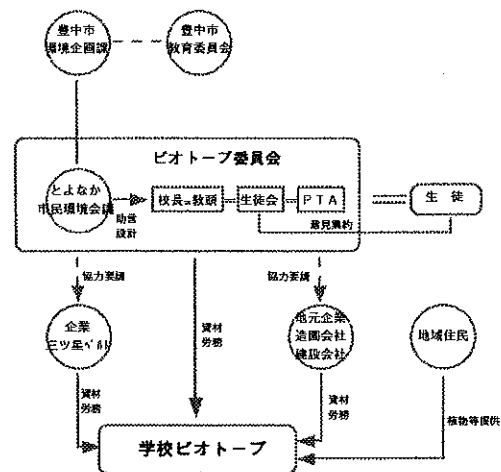
自然部会では「希望があればアドバイスします」とビオトープの普及に意欲的です。



★★ビオトープとは?

生物(ビオ)の生息する空間(トープ)を意味します。特に最近では、自然が少なくなった都市部で地域の自然を還元させる手段として用いられています。規模や内容は様々で、どんな場所にも造ることができます。

第15中学校ビオトープづくり関係図



本号のハイライト

- P.1** 十五中ビオトープ完成!
- P.2** 平成11年度総会で活動方針決まる
- P.4** 各部会・プロジェクトのこれまでの活動
- P.7** 未来予想図 過去・現在・未来

平成11年度総会開催 今年度活動方針決まる

6月18日(金)14時より市民会館において、平成11年度総会が開催されました。今年3月に作成された豊中アジェンダ21(地球環境を守るとよなか市民行動計画)や、とよなか市民環境会議の活動の発表が行われました。

★「豊中アジェンダ21」できたよ!

2年間、4つの部会とワーキンググループで200回以上の会合を重ね、まとめられた「豊中アジェンダ21」が発表されました。



豊中アジェンダ21

地球環境を守るとよなか市民行動計画

基本方針

1. 豊中アジェンダ21の推進と温暖化防止京都会議(COP3)決議の実現をめざして、市民・事業者・行政がそれぞれの立場で主体的責任を自覚し、出来ることから直ちに行動することを通じて、相互の理解を深め、信頼と連帯の関係を強めます。
2. 豊中アジェンダ21に基づく市民・事業者・行政の協働行動を企画し推進することで、相互交流、相互支援を推進するとともに、市民環境会議としての自主的な行動基盤を育てていきます。

★アジェンダとは?

アジェンダとは、「課題」という意味です。1992年、リオデジャネイロで開催された国連環境開発会議において、地球環境問題や貧困といった地球的課題に対応して、人類の行動計画「アジェンダ21」が作られました。その中で、地方版のアジェンダ21、「ローカルアジェンダ21」を作ることとされています。豊中市のローカルアジェンダ21が、「豊中アジェンダ21」です。豊中アジェンダ21は、行政計画である豊中市環境基本計画と共通の理念・目標、望ましい環境像を持っています。この二つの計画が、車輪の両輪となって相互に発展していくことが期待されています。

各部会からのメッセージ

自然部会・桑島いつ枝さん

自然部会では、「自然に親しみ学ぶ」、「自然を守り育てる」、「自然を作り広げる」の三つの柱を中心に取り組みを始めました。落ち葉や剪定枝の堆肥化。プランダや庭の緑化の他、街路樹や公園、川をきれいにしようといったことや、近くの寺社林に葉ずれの音を聞きに行こうといった、皆さんが明日からでも取り組める行動提案をしています。



交通部会・堀 正恒さん

「ストップ・アイドリング・キャンペーン」では、アイドリング・ストップへの協力の呼びかけとともに、マチカネワコのステッカーを配っています。このワコは豊中市の象徴ということで、デザインもスタッフの方が色々苦労されたということです。小さなものですが、地道に、皆様に呼びかけを行っていきたいと思います。

生活部会・高島邦子さん

物がなかった時代は、もっと物を大事にしていました。物があふれている現在、物に対する感謝や、自分の手から離れた後の事を考えなくなってきています。誰かがやってくれるだろう、自分だけがやっても無駄だと思わず、ささやかな行動でも実行していくことが、家族や地域、事業者や行政も変えていけるのではないのでしょうか。



産業部会・澤 温さん

省エネルギーへ向け「省エネで コスト削減 推進し 企業も地球も明るい未来」、省資源のため「限りある 天然資源を 節約し 未来へ続く 良い品作り」といった短歌風の事業所の環境目標を作ってきました。産業と言っても一つの生活の場であり、環境問題を考えたシステムを作っていくために皆さんで協力しましょうと言うことが提案されています。



プロジェクト・水谷 淳一さん

各部会の活動とは別に、あるテーマだけの活動をするプロジェクトが立ち上がってきました。竹炭プロジェクトでは、竹のリサイクル、竹林の保全を目的に炭焼きを実施しています。講座企画プロジェクトでは、豊中アジェンダ21の普及推進と市民環境会議のメンバーを増やすことを目的に市民企画講座を実施していきます。

代表コーディネーター盛岡通さん（大阪大学教授）からのメッセージ

「豊中アジェンダ 21」は、策定当初の段階から市民環境会議の皆さんが直接関わり作られたこと、さらに環境家計簿やアイドリングストップなどの行動をしながら作られたこと、そのため行動提案の一つ一つが具体的で取組みやすいものになっていることが特徴だと思います。

活動の始めの時期には行政の支援が不可欠ですが、時間が経ち、市民環境会議が自主的で幅の広い活動に広げようとする、財政基盤の確保と事務所などの場所の確保の問題がでてきます。

また、事業者は物を作り、販売し、サービスを提供することを通じて、環境問題に取り組んで欲しいものです。そのためには市民との交流や情報公開が不可欠です。そんな事業者を市民や行政は商品の流通を通して支援していく。その上で、事業者も市民の取組みを支えて欲しいと思います。

「豊中アジェンダ 21」と「豊中市環境基本計画」に有機的につながりを見ながら、単独では出来ないことをパートナーシップで可能とし、二つの計画を実行していくことが大切です。

記念講演（要約）

「地球温暖化をめぐる世界の動きと私たち」

浅岡美恵さん（気候ネットワーク代表）



地球温暖化により、将来、海面が1メートルも上がると、小さな島国だけではなく日本でも海面以下に沈んでしまう地域に住む人は230万人ぐらいいになり、人も財産も危機にさらされます。

現在、ヒマラヤの氷河がどんどん後退してきており、日本でもスキーが出来なくなったところが多いと思います。また、ネパールや南インドなどでは、すごい暑さに加え雨も降らず、大変な異常気象であると言われています。災害も増え、その損害により、保険会社が保険を支払えなくなり、倒産するという事態にもなっています。

地球温暖化の一番大きな要因である二酸化炭素の排出が、特に第二次世界大戦後、人口1人当たりエネルギー消費量、交通量などとともに、急速に増えてきました。GDPの増加とともに、大量生産、大量消費型の社会へと急激に変化してきました。私たちは、将来の世代にも生存の基盤を残さないといけません。

豊中市環境基本計画の冊子にもあります皆様の意識調査によると、地球環境問題は8割ぐらいの方が孫の時代までには危ないと思っていられる。21世紀の中頃から何とかしようというのでは追いつかないだろうと思います。

温暖化防止に世界各国がどのように義務を果たしていくのかという議論においては、先進国は歴史的な排出量、現代の排出量も多い。世界のごく一部の先進国の人々が資源の大半を消費していて、貧しい人々との間では1人当たり排出量に2桁ぐらいの違いがあります。先進国が責任を果たそうとしないのに、途上国に責任を押し付けるのは許せない、という議論になり、なかなか合意をすることができません。互いの立場の違いを理解しあうことは簡単なことではありませんが、必要であり、まちづくりの話とも重なってきます。

忘れてはいけないのが、京都議定書の数値目標は、先進国全体で二酸化炭素の排出量を2010年ごろまでに約5%減らし、日本は6%減らすということですが、これだけでは気候変動の緩和とすることはほとんど影響がないと予想されていることです。2020年2030年の時点では、さらに減らさなくてはなりません。

豊中市の目標を見ますと、2010年までに1人当たり7、8%減らしましょうとなっています。その次の10年は、もっと減らさなくてはならないというのが地球の要請です。そのためには、今からいろいろな準備をすることが必要です。

各部会・プロジェクトのこれまでの活動

自然（ビオトープ）部会 観察会運動が活性化！！

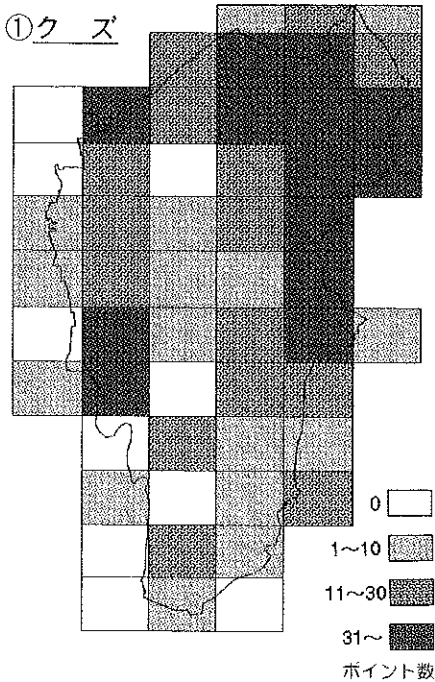
今回の巻頭でご紹介したビオトープづくりの他にも、次のような取組みを行いました。

★学校剪定枝の堆肥化・・・昨年、自然部会の提案から豊中市内の小中学校 10 校でスタートした学校剪定枝の堆肥化の取組みは、今年は 22 校の参加がありました。来年は更に広げていきたいと思えます。

★身近な自然観察会・・・今年は、春の島熊山観察会、鳴く虫観察会などを行いました。また、今年新たな取組みとして、春のタンポポ調査、豊中の秋の七草調査を行いました。たくさんの市民の方が参加してくださり、豊中市民にとって、非常に貴重な資料ができました。来年度も継続して行います。広報等で案内しますので、是非参加してください。調査結果が知りたい方は事務局までご連絡ください。

★豊中市史学習会・・・今年、新修豊中市史自然編が発刊されたことを記念して、著者の先生をお招きして、豊中の自然についての学習会を開きました。めったに聞けない話に参加した人たちは満足していたようです。来年2月26日にも行います。詳しくは広報2月号に掲載しますのでご覧下さい。

①クズ



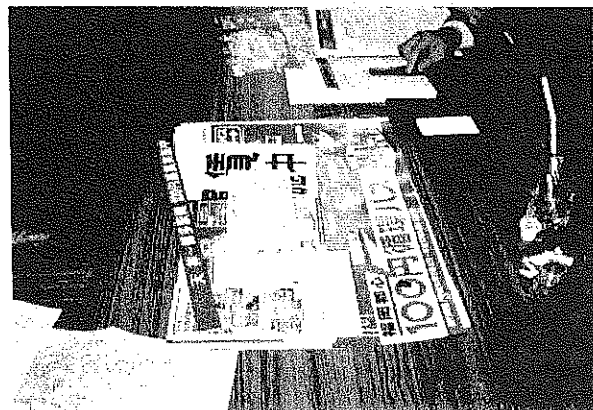
交通（エコトラフィック）部会 福岡天神地区視察！！

福岡市の天神地区共同輸送株式会社視察

福岡市天神地区は北九州の交通が集中し、しかも、多くの商業ビルが集まっているために、交通渋滞が激しい地区です。この交通渋滞の原因の一つである商品の集配送車が集中することの解消を目的に、天神地区内の商業ビルへの集配送のみを行う会社として20年前に天神地区共同輸送株式会社が設立されました。

実際、現地視察しお話を伺って見ると、時代と共に交通需要も変化し、まだまだ課題が多いこともわかりました。豊中市内の交通渋滞の激しい商業地区への交通問題解決に向け、参考になりました。

おりから、西鉄バスが計画中の天神地区循環100円バスについても調査をしました。市民にも吊広告などですでに宣伝されており、利用者の反響も大きいものがありました。



生活（エコライフ）部会 エコショップ調査初実施！！

生活部会では、初めての「エコショップ調べ」に挑戦、市内量販店14店舗の協力を得て、10月18日～30日まで実施しました。

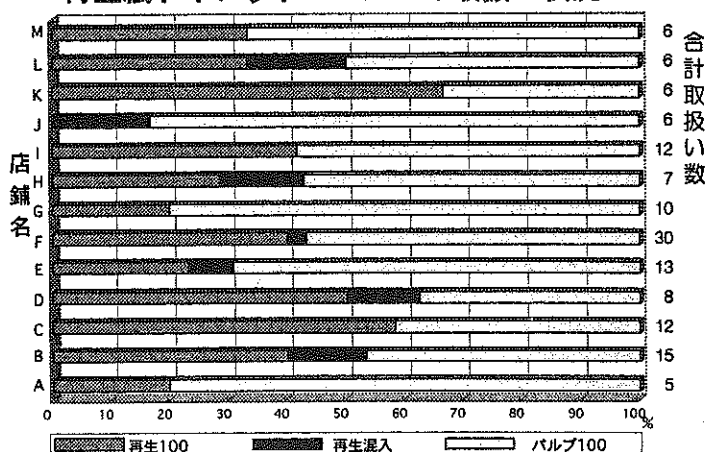
この調査は、府の「エコショップ登録制度」から1歩踏み込んだもので、「環境に配慮した品揃い」を店頭で調べたり（今回はラップ、洗剤、再生紙を対象）、店長さんに「環境への取り組み」などについて直接お話を聞きました。

トイレットペーパーの調査では、全体で再生紙や再生紙混入のものの取扱い数が、全種類の4割強となり、再生紙製品の利用が進んでいます。多い店では6～7割の商品が再生紙製品でした。しかし、再生紙100%の商品がまったく置かれていない店舗もありました。

ティッシュペーパーについては、残念ながら取扱い店舗が2店にとどまり、再生紙利用が進んでいません。森林保護や二酸化炭素の発生を減らしていくためにも、消費者自らが再生紙のトイレットペーパーやティッシュペーパーを選んで購入したいものです。

私たちの願いは、環境にも健康にも良い商品が欲しいということ。「再生紙を買いたいけれど、売っているお店がない」というメンバーの一言がきっかけで実現した調査ですが、そのためには、お店もがんばる、消費者は買い支える。その積み重ねが豊中を変えていく、その一助になればと思います。

再生紙トイレットペーパーの取扱い状況



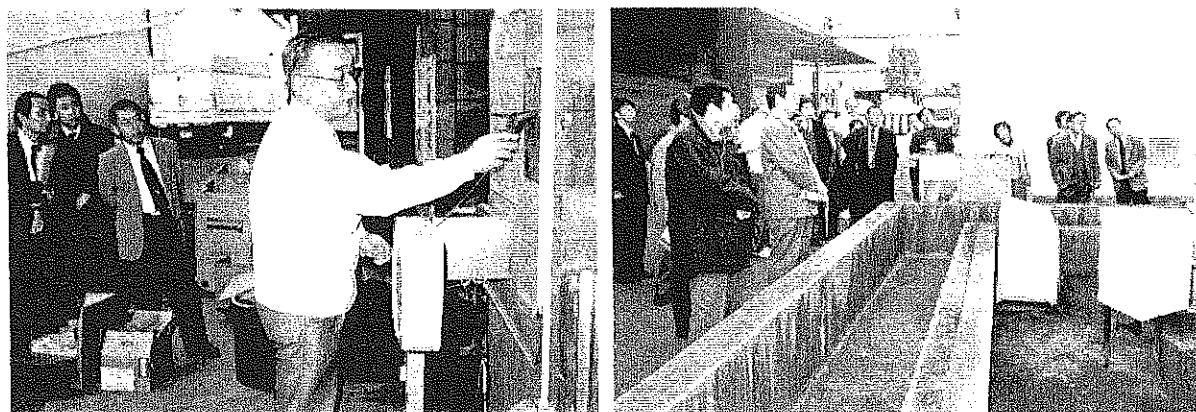
産業（エコインダストリー）部会 ISO取得企業見学

12月7日（火）の午後、松下グループの2企業を見学させていただきました。

産業部会では、「豊中アジェンダ21」を作成する過程で、無理のないところから企業活動を見直す作業を進めています。今年は研修活動の一環として、ISO14001を取得された松下電器産業（株）洗濯機事業部と松下産業機器（株）を訪問して、取組みの実際をお話していただくと共に、廃棄物処理などの現場にどのように環境管理が反映されているのかを見せていただきました。

総勢24名の見学者はISOシステムの構築の途中でのいろいろな問題や社員の納得を得るまでの苦労などを聞かせていただいた後、構内にかかげられた環境掲示板や省エネのために社員が窓に貼った遮光シート、事故対策の危険物管理の実際などを見学しました。なかでも、廃棄物の35種分別を行って、ハンディターミナルでパソコンに部門別の排出量を送って管理するシステムがつけられている排出物倉庫には参加者は感心するばかりでした。

質疑応答も活発に行われ、両社の積極的な協力で有意義な見学会を行うことができました。



たけすみ

竹炭の会かぐやんぼー

炭焼き実験進む

昨年度、クリーンランドで始めた竹炭焼き実験を、今年度は11月20・21日に上野坂に場所を移して、第1回目を行いました。

かつて豊中は竹林が多く、たけのこの産地として有名でしたが、現存する竹林は間伐されたのち焼却処分されているのを知り、「もったいない」がきっかけで始まりました。竹のリサイクルや竹林の保全が目的ですが、過去に作った竹炭を15中のピオトープで水の浄化に使ったり、イベントの折に実費程度でお分けしたりもしています。その収益はとよなか市民環境会議の活動資金にしています。

今回は、周辺自治会や住民の方々のご協力もあり、順調に炭焼きを行い、またリース作りをするなど楽しい時間も持てました。

次回はより質の高い竹炭を目指して取り組む予定ですので、関心のある方は是非事務局までお問合せください。

(次回日程最終ページ参照)



市民企画講座「おもしろ環境学」スタート!

企画屋本舗



豊中アジェンダ21の普及・推進と新メンバーを増やすことを目的に、今年4月から学習会を企画するプロジェクト「企画屋本舗」ができました。「楽しくてためになる」をキーワードに企画を進めています。

10月に実施した「遠足気分、体験エコツアー」は、千里川沿いを自然観察とごみ拾いをしながら歩き、クリーンランドまで行ってごみ処理の様子を見学しました。参加者の方からは「自然観察が好きで参加したが、ごみの多さ、処理の大変さに驚いた」「ごみ問題に関心があったが、豊中にこんな自然があったのを知り大切にしなければと感じた」など、ご好評をいただいています。

次回は、3月に「ちょっと待って!プラスチックおもちゃ」をテーマに講演会を予定しています。詳細は広報とよなか3月号でお知らせしますので、多くの方のご参加お待ちしております。

とよなか市民環境会議の活動支援金集まる

今年度、とよなか市民環境会議総会で承認されたように、会員有志の団体に資金負担の協力を7月のアイドリングストップステッカーを購入いただくと言う形をお願いしたところ、30団体からお申し込みがあり、132万円の活動支援金が集まりました。

この資金は、「ストップ・アイドリング」ステッカー印刷費とエコライフカレンダー印刷費として使わせていただきました。

(決算は来年度総会でご報告いたします。)

また、環境活動をしておられる市民の方からも、「豊中の環境をよくするために使ってほしい」とご寄付いただいております。

この場をお借りして、皆様にご紹介させていただきますと共に、厚くお礼申し上げます。

協賛団体/豊中商工会議所工業連合部会、豊中建設業協会、豊中造園建設業組合、日本労働組合総連合会豊中地区協議会、豊中市労働組合連合会、豊中市教職員組合、豊中市交通安全自動車協会、豊能自動車整備地区会、関西電力(株)豊中営業所、豊中青年会議所、豊中環境事業協同組合、豊中ロータリークラブ、豊中ライオンズクラブ、豊中中央ライオンズクラブ、豊中北ライオンズクラブ、豊中南ライオンズクラブ、豊中千里ライオンズクラブ、豊中市管工事協同組合、NTT北大阪支店、大阪ガス(株)北東部事業本部、(社)大阪府宅地建物取引業協会豊中市支部、北摂運輸協議会、大阪府トラック協同組合、(社)豊中市医師会、(社)豊中市歯科医師会、(社)豊中市薬剤師会、阪急タクシー(株)、阪急バス(株)、ミカワ薬品(株)、服部建設(株)
寄 付/豊町カバちゃんの家

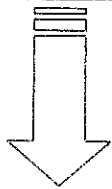


未来予想図 - とよなか市民環境会議の過去・現在・未来

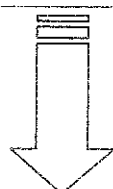
とよなか市民環境会議も4年目の年を迎え、今年は3月に策定した『豊中アジェンダ21』の普及・推進に向けて様々な活動を行っています。そんなとよなか市民環境会議ですが、どんな経過をたどってきたかをおさらいし、ワーキンググループの若手二人にはどんな未来が予想されるのか、おおいに語ってもらいましょう。では、どんな未来予想図になるのやら、こうご期待！

ここまでのとよなか市民環境会議

96年5月	とよなか市民環境会議誕生 発起人62団体が呼びかけて、市民・事業者・行政の約150団体が参加。ワーキンググループ会議も6月から開催され、アジェンダづくりに向け、市民パワーが集結。
97年9月	アジェンダ策定作業部会の活動始まる 生活、自然、交通、産業の4つの部会がアジェンダの条文作りに向け始動。
98年7月	各部会ごとに率先行動始まる ストップアイドリングキャンペーンや自然観察会、エコオフィスチェック活動、環境家計簿運動など様々な活動が展開される。
99年3月	豊中アジェンダ21完成 101の行動提案を示した市民・事業者の行動計画。豊中市環境基本計画とリンクした、新しい形のローカルアジェンダとして他方面から注目される。
99年4月	プロジェクト活動も活発に 豊中アジェンダ21普及推進のため、個別プロジェクトが次々誕生。竹炭の会かぐやんぼー、生ごみ堆肥プロジェクト、企画屋本舗（市民企画講座）など

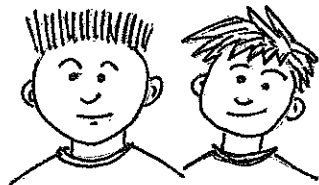


そして迎える
大躍進



20××年
事務所設立、法人化される。
エコ商店街プロジェクト開始。
竹炭、生ごみ堆肥の河川や農園での
実用化が始まる。

20××年
周辺市の市民環境会議とネットワーク化。
豊中市はエコ都市宣言、インターネットで
海外にも情報発信。
ごみ分別の細分化とリサイクル推進。
図書館に「環境学習コーナー」誕生。
環境学習リーダー育成事業始まる。
環境学習教材作成→全小中学校にて使用



20××年
ごみのリサイクル率は全国トップに。
市内スーパーではレジ袋が有料化。
マイバッグ持参が若者に流行に。
小中学校で「環境学習」の必須科目に。
全国エコ商店街会議が開催

20××年
とよなかエコライフ研究所設立。
豊中市内を走るバス・タクシーはす
べて低公害車に転換される。
全国エコ都市会議が豊中で開催。
アジェンダが流行語大賞に。

とよなか市民環境会議に集まろう!

とよなか市民環境会議

とよなか市民環境会議は、市民、事業者、行政の人々が、共にこれからのとよなかの環境づくりをしようという集まりです。年齢もバックグラウンドも違う様々な参加者が、共に語り合い、企画し、また現場を見て歩き、楽しんで活動してきました。

さて、とよなか市民環境会議では、一緒に活動に参加してみたいという方を大募集しています。参加といってもその人なりの個性的な関わり方があるはず。会員として定例の会議を開いている生活、交通、産業、自然の4つの部会に顔を出してみたい方、ボランティア的なことをして下さる方などお越しください。

たとえば、

- ★ ニュースレター編集委員
- ★ パソコンに強いスタッフ
- ★ 市民企画講座(企画屋本舗)スタッフ
- ★ エコパーティースタッフ

など、大歓迎です。彼氏、彼女、出会いを求めているあなたもいかがでしょうか?

ちょっとのぞいてみたいと思った方は、事務局までお電話を! マチカネワニもお待ち兼ね!

創作民話「マチカネワニとエコナちゃん」

「さあ、ニュースレターが刷りあがったー」
「ハー、どれどれ。とよなか市民環境会議って楽しそうやね。アッ、待兼山に出てきたワニ? どうして山にワニがいるの!？」
そこで、エコナちゃんは、待兼山に確かめにいきました。ところが歩いても歩いてもワニはいません。すると突然、土の下から歌が聞こえてきました。

♪マチカネワニは大忙し!
ストップアイドルリングを呼びかけて、
車に張り付き奮闘中
いのちの後の、いのちの後に
いのちにつなげるために
明日はエコライフカレンダーで奮闘中……
立場を越えて、心豊かな人々と
いっしょにやれば、楽しいよ♪

「そっかー。でもエコナができることって何だろう? そうだ、まずは市役所へ行って、マチカネワニちゃんに聞いてみよう!」

さあ、あなたも市役所へ行って、マチカネワニちゃんを探してみませんか? エコナちゃんと地球の話をしているところかもしれませんよ。

今後のスケジュール

エコライフカレンダーモニター説明会

- 日時 1月15日(土) 14時~15時
- 場所 くらしかん *保育有り 要予約

猪名川水鳥観察会

- 集合日時 1月22日(土) 13時
- 集合場所 市役所第2庁舎
- *定員 50人 *持ち物 双眼鏡、筆記具など
- *申込み 1/17(月)までに事務局へ

生ごみリサイクル講演会

- 日時 2月16日(水) 15時~17時(予定)
- 場所 市役所第2庁舎3階大会議室
- 内容 生ごみリサイクルについて各界の動向
- *講師未定。詳細は広報2月号をご覧ください。

豊中市史学習会

- 日時 2月26日(土) 13時~15時
- 場所 千里図書館
- 内容 気象と自然環境
- 講師 中世古幸次郎さん、柴山元彦さん

竹炭焼き

- 日時 3月4・5日(土・日) 9時~
- 場所 上野坂2丁目(モノレール少路駅南側)
- *詳しくは、事務局までお問合せください。

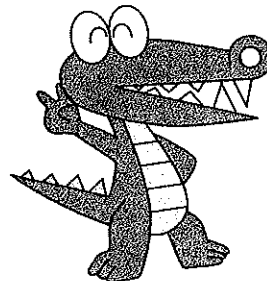
豊中の竹炭展

- 期間 1月10日(月)~31日(月)
- 場所 くらしかん 1階

◎おもしろ環境学、交通部会では、3月に講演会を企画中です。詳しくは広報とよなかをご覧ください。

◎次の部会等は定例的に会議を行っています。参加を希望される方は、事務局までお問合せください。

- 自然部会 毎月第2月曜日 18時~
- 生活部会 毎月第3土曜日 13時30分~
- ワキガグループ 毎月第3木曜日 19時~



お願い

今年度はトタバタと盛りだくさんの事業が行われています。そんななか感じているのが専任編集スタッフの強化! そのアナタ! いっしょにやりましょう。

担当・E三宅、H山本
B田中、N窪田
F坂本、W高野

発行 : とよなか市民環境会議

事務局 : 豊中市生活環境部環境企画課内

編集責任 : 豊中市生活環境部環境企画課長

〒560-8501 大阪府豊中市中桜塚3-1-1

TEL : 06(6858)2106 FAX : 06(6842)2802

★とよなか市民環境会議は、市民・事業者・行政のパートナーシップ組織です